ムサシノモデル製品情報

平成 30 年 9 月 22 日

国鉄／ＪＲ　ＥＦ８１　プロジェクト始動！

２０１９年秋発売予定

価格未定　予約受付開始

EF81 のサンプルモデルが出来上がってケンケンガクガクやっていたのがもう随分と以前の話のようで時間の流れの速さ感じる今日この頃です。当店が EF81 の取材を田端で行ったのは 4 年半前の 2013 年 11 月 13 日のこと。サンプルモデルの完成が 3 年前の 2015 年 4 月 12 日と 3 年の月日が過ぎています。最初の計画では EF64 の後直ぐに製作にかかる予定でしたが思いがけなく EF65 の 2 度に渡る再生産とそれから派生した EF60,西武 E851 の製作、ED12 と DD51 のこれも再生産と間に次々とプロジェクトが挟まれることで計画が伸び伸びとなっていきました。ただ EF65 も準備（心の準備も）に 5 年以上時間を要していましたので EF81 も機が熟してきたという感じでしょうか、心の準備も大分出来てまいりました。最近はプロデュースも昔とは異なり何倍も時間がかかり、更に製作期間も長くなってきているので集中力を保つのが歳のせいもあり苦労します。プロデュースを行ったのが 2 年前とか 1 年前とか云うパターンで”記憶にございません”状況になる事しばし。時間だけがどんどん過ぎて行きます。EF65,DD51 の計 100 に及ぶバージョン展開も完成。それらの経験も加味した上でいよいよ EF81 のまとめにかかります。これまで以上に上廻りと下廻りの一体感を計る事で長大なＥＦ８１の勇姿をマッシブで流麗に再現致します。その為に「神（真実）は細部に宿る」の通り各タイプの仔細に至るまでの作り分けを行い、各機の特徴を完全な特定番号機として作り上げていきます。ATM 社では同じくサンプルモデルが完成している EF15 に続き EF62 のサンプルモデルが出来上がっています。ED78,EF71,EF66 の準備も進行していますのでお尻に火が付いてきています。さあ大変だー。

EF81 は図面において約 47 バージョンの展開を試みています。これによりほぼ全てのバリエーションに対応して行く事が可能となります。その中からまず国鉄時代の各タイプ，各バリエーションに一部北斗星色、トワイライト、お召し等 JR タイプを織り交ぜて製作致します。もちろんメッキ仕上げのステンレス 300 番台車、JR 貨物 450,500 番台車等は基本を押さえた後の 2 回目の生産となります。にやどる

EF81 をムサシノモデル流のバリエーション展開する上でいくつか問題が有ります。それは、

1.車体の雨樋の縦樋の落とし口の位置が 2 種類有る。

2.号機によりヘッドライトに庇の有るものと無いものが有る。後天的改造で系統だっていない。

3.改造で汽笛カヴァーの後ろ側に小さな蓋が有るものと、無いものがある。

4.酒田機関区所属機は土崎工場にてランニングボードの脚部に安全柵の支柱受けが取り付けられている。

これら4つの項目の作り分けは極めて困難を伴うものです。EF65 や DD51,EF64 でも同様の事を行っていますが想像をはるかに超える手間と時間がかかってしまいます。又、タコグラフメーターの有無と機械式、電気式の時代による変遷。JR 化後の各社の ATS アンテナの車上子の追加とそれに伴う軸箱への発電機の取り付け。更に今まで形状が全く似ていないものばかりだった抵抗器カブァーの 75 号機以降との高さの違いまでも再現をおこないます。国鉄時代は全てローズピンク赤 12 号塗色ですがこの塗色も模型的により美しく見栄えのある色調、艶具合で再現致します。一体圧延車輪への交換、JR 各社の ATS-P ア

ンテナ取り付けは 1993 年頃から始まっていますが台車への発電機の追加取付けを含め忠実に再現して行きます

青字部分は訂正及び追加箇所
赤字箇所が製品化するタイプナンバー。

(0A)国鉄 EF81 1 号機量産化改造後 1968 年 12 月先行試作の後 1970 年量産化改造、富山 ヘッドライト庇無し。汽笛カヴァー後ろ蓋有り。

(1) 国鉄 EF81 1 次量産車 2～38 号機　1969 年新製配置、富山。ヘッドライト庇無し、汽笛カヴァー後ろ蓋有り。 旧型電暖表示灯、前面ルーバー、汽笛カヴァー大、テールライト内バメ式、切り文字ナンバー、屋上機器カヴァー短い、中間台車ローラー外れ防止金具無し。

(1-1) 富山第二 (3,5,7,10,23,25,27,30,32,36,38 号機)。
(1-2) 田端（11～18 号機）1980 年富山より転入。特急ゆうずる、常磐線旧客牽引。

(1A) 国鉄 EF81 1 次量産車　富山 34,35 号機　1984 年頃運転室側窓下点検蓋取付け。ヘッドライト庇無し。汽笛カヴァー後ろ蓋有り。

(2A)国鉄 EF81 2 次量産車 39～46 号機。1 次型と比べ正面の通風孔が無くなり、テールライトが外バメ式へ変更、ナンバーが一体のブロック式となり、ホィッスルカヴァーは小型化、屋上機器カヴァーが延長された。スカート部 20 系客車用 KE59H ジャンパー栓も廃止され、更に中間台車のローラー外れ防止金具が取り付けられている。 1972 年新製配置、
(2A-1)富山 39 号機。(特急日本海その他夜行)。
ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋有り、窓下点検蓋が付いた 1984 年以降のスタイル。
(2A-2)40～46 号機より 43,46 号機。
当初長岡その後直ぐに酒田（40～46 号機。特急日本海、その他夜行。）ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋無し。安全柵支柱取付け以前のスタイル。

(2B)国鉄 EF81 2 次量産車 47～74 号機より 47,52,63,67,72,74 号機。
電暖表示灯を内ハメ式に変更。1972 年新製配置、当初長岡その後直ぐ酒田 47,48,61～64 号機。酒田 49～60,65～74 号機。ヘッドライト庇有り、全ナンバー汽笛カヴァー後ろ蓋無し、安全柵支柱受けが取り付けられた 1977 年以降の姿。

(3)国鉄 EF81 3 次量産車 75～100 号機 抵抗器カヴァーの取り付け方式変更により 30 ミリ車高が高くなる。19７3～4 年　新製配置、酒田 75～78,98～100 号機。富山 79～81,95～97 号機。田端 82～94 号機。酒田、富山より移動 1980～84 年内郷機関区時代(78～80 号機)。
(3-1)内郷 79,80,81 号機。ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋有り。1980 年富山より転入。
(3-2)田端 84,85,90,93 号機。ヘッドライト庇無し。汽笛カヴァー後ろ蓋無し。

(4)国鉄 EF81 4 次量産車 101～126 号機 1974 年新製配置敦賀第二機関区
101,102,103,105,108,106,112,114 号機。ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋有り。

(4A)国鉄 EF81 4 次量産車 101,121 号機
4 次量産車は全て 1984 年敦賀より富山へ転属。運転室側窓下点検蓋取付け改造。ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋有り。

(5)国鉄 EF81 5 次量産車 127～136 号機。電暖表示灯が設計変更され形態が変わった。 1974～1977 年新製配置。敦賀第二の 129 号機以外は酒田機関区で安全柵支柱受けを取付け。
(5-1)敦賀 129 号機。ヘッドライト庇無し､汽笛カヴァー後ろ蓋有り。
(5-2)酒田機関区 127,130,132,135,136。ヘッドライト庇無し､汽笛カヴァー後ろ蓋無し。安全柵支柱受け取付け。

(6)国鉄 EF81 6 次量産車 137～143,146～152 号機
1979 年新製配置、東新潟機関区。全面窓上に一体型の庇がとりつけられ、スカートの誘導ステップの取り付け方法が外側からのボルト締めに変更された。ヘッドライト庇無し､汽笛カヴァー後ろ蓋無し。

(6A)国鉄 EF81 6 次量産車 144,145 号機
1979 年新製配置、東新潟機関区。6 次量産車の内この 2 輌のみ車体前面裾のエプロンが後に増備された 500 番台車同様上方に移動した位置に取り付けられその形状も同様に中央部分が前方に出張る。

(10)国鉄 EF81 81 号機 お召し グレイエッチゴム。田端機関区 お召し列車牽引機を再現いたします。ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋有り。

---

(50)JR 東日本 EF81 81 号機 お召し現行復活仕様
黒エッチゴム、一体圧延車輪、ATS-P アンテナ取り付け、電暖表示灯小型化改造。

北斗星色 EF81 以下全て一体圧延車輪、ATS-P アンテナ取り付け。
(51A-1)JR 東日本 EF81 86、94 号機 田端機関区 グレイエッチゴム
ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋無し、常磐線無線アンテナ座有り。

(51A-2)JR 東日本 EF81 97 号機 田端機関区 グレイエッチゴム
86、94 号機との相違点 ヘッドライト庇有り。汽笛カヴァー後ろ蓋有り、蓋位置はセンター、電暖表示灯小型化改造。

(51B-1A)JR 東日本 EF81 82 号機 田端機関区 黒エッチゴム
ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋有り、蓋位置はセンター、常磐線無線アンテナ座無し。

(51B-1B)JR 東日本 EF81 98 号機 田端機関区 黒エッチゴム
ヘッドライト庇有り､汽笛カヴァー後ろ蓋無し、常磐線無線アンテナ座無し。安全柵支柱受け取付け。車体側面の星マーク位置低い。

(51B-2)JR 東日本 EF81 80,81,96 号機 田端機関区 黒エッチゴム
ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋有り、蓋位置はセンター。常磐線無線アンテナ座有り。

(51C)JR 東日本 EF81 133 号機 田端機関区 黒エッチゴム
ヘッドライト庇無し、汽笛カヴァー後ろ蓋無し。安全柵支柱受け取付け。

(51S-1)JR 東日本 EF81 78 号機 田端機関区 黒エッチゴム
ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋無し、常磐線無線アンテナ座有り、電暖表示灯小型化改造、安全柵支柱受け取付け。

(51S-2)JR 東日本 EF81 88、93 号機 田端機関区
ヘッドライト庇有り、新製時から田端機関区配置で汽笛カヴァー後ろの蓋が無いグループ。常磐線無線アンテナ座有り。
以上　北斗星色 EF81

(52A)JR 東日本 EF81 95 号機 田端機関区 レインボー色 グレイエッチゴム
ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋有り、蓋位置はセンター、常磐線無線アンテナ座有り。車体裾白線の下の部分の塗色は濃い紺色を再現。

(52B)JR 東日本 EF81 95 号機 田端機関区 レインボー色、黒エッチゴム
以下同じ。

(53-1)JR 東日本 EF81 79 号機 カシオペア色 田端機関区
ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋有り、常磐線無線アンテナ座有り。電暖表示灯小型化改造。

(53-2)JR 東日本 EF81 92 号機 カシオペア色 田端機関区
ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋無し、常磐線無線アンテナ座有り。

(53-3)JR 東日本 EF81 99 号機 カシオペア色 田端機関区
ヘッドライト庇有り、汽笛カヴァー後ろ蓋無し、常磐線無線アンテナ座無し。安全柵支柱受け取付け。

(54-1)JR 東日本 EF81 133,135 号機 長岡
特急鳥海牽引機 1993～1997 年 赤 2 号塗色 グレイエッチゴム、ヘッドライト庇無し、汽笛カヴァー後ろ蓋無し、安全柵支柱受け取付け。 1993 年上野～青森間の特急鳥海ロングラン牽引用に長岡区の EF81 133～141 号機の 9 輌が選ばれ、赤 2 号塗色への変更、一体圧延車輪への交換、

ATS-P 取付け、前面裾のエプロンの上中央に更にステップを 7 センチ嵩上げ増設。5 次車 133～136 号機に対しては 6 次車同様にスカートの誘導ステップの外付け化、スノウプローを EF64-1000 と同じ形状の物に交換、正面窓上に庇を６次車より若干低い位置に取付けを実施。その結果 EF81 一族中最も精悍なスタイルとなった。

(54-2S)JR 東日本 EF81 138,141 号機 長岡
特急鳥海牽引 133～141 号機の内 137,138,141 号機の 3 輌は暫くの間、赤 2 号に塗り替えられずにローズピンク色のままで運用に就いていた。

(55)JR 東日本 137,138 号機 青森、特急あけぼの牽引、黒エッチゴム、ヘッドライト庇無し、汽笛カヴァー後ろ蓋無し、一体圧延車輪、ATS-P 取付け。

(55-1)ＪＲ東日本 EF81 150 号機長岡
特急北陸牽引。以下同じ。

(56)JR 東日本 EF81 双頭連結器 黒エッチゴム、134 号機長岡、136 号機青森～秋田
ヘッドライト庇無し、汽笛カヴァー後ろ蓋無し、安全柵支柱受け取付け、一体圧延車輪、ATS-P 取付け。双頭連結器はロストワックスで精巧に再現、ケーディーカプラー連結、交換できます。

(57) ＪＲ東日本 EF81 双頭連結器 黒エッチゴム、139 号機青森～田端、140,141 号機長岡
5 次車の中で改造により取付けられた 133～136 号機の前面窓上の庇と６次車の庇では取付位置が異なる。5 次車は 6 次車より低い位置に取り付けられた。また端部の曲げ具合も異なる。良く見ると印象の違いが分かります。以下同じ。

(57-1)JR 東日本 EF81 151 号機 双頭連結器 黒エッチゴム 長岡 双頭連結器改造装備車の内 151 号機だけは ATS-P が取り付けられなかった。

(58A-1)JR 西日本 45 号機ローズピンク　敦賀　2010 年廃車
抵抗器カヴァー低い。ウィンドウォッシャーノズル無し。ヘッドライト庇有り。汽笛カヴァー後ろ蓋有、蓋はオフセットした位置に付く。安全柵支柱受け取付け。電暖表示灯撤去。日本海、つるぎ等牽引。

(58A-2)JR 西日本 48 号機 ローズピンク　敦賀
45 号機との相違点はヘッドライト庇無し、電暖表示灯が撤去されていない。

(58B-1)JR 西日本 106,107,108 号機ローズピンク　敦賀
101,107 は 2013 年、106,108 は 2016 年廃車　抵抗器カヴァー高い。ウィンドウォッシャー付き。ヘッドライト庇有り。汽笛カヴァー後ろ蓋有り、蓋はセンターに付く。電暖表示灯の表示灯埋め込み。日本海、各種団臨等牽引。

(58B-2)JR 西日本 101 号機 ローズピンク　敦賀
106,107,108 相違点は電暖表示灯付き。

トワイライトエクスプレス牽引機の説明

6 輌のトワイライト色 EF81 のナンバー43,44。103,104。113,114 はただの語呂合わせで決られたもので意味は無いそうです。専用機としてスカート廻りに手が加えられている。密着式自動連結器への交換と強化型緩衝装置の取付け、その理由で解放テコ受けも前方に伸びている。またスカート向かって右端に付いている KE72H ジャンパー栓は作業の邪魔にならない様内側に移設されている。ただ例外として 43 号機のみこの工事がおこなわれていない。特殊な例として 113 号機の 2 エンド側に取り付けられた粉塵防止板が挙げられる。１９９１年１１月パンタ摺り板からの粉塵による客車展望窓の汚れを防ぐ目的で数日のみ大きな板がとりつけられた。これを取り外した後のブラケットの一部が正面から見ても良く解る程に残されている。

(59A-1)JR 西日本 43 号機 2016 年廃車

抵抗器カヴァー低い。ウィンドウォッシャー付き。 ヘッドライト庇有り。汽笛カヴァー後ろ蓋有り、蓋はオフセットした位置に付く。安全柵支柱受け取付け。KE72H ジャンパー栓はオリジナルの位置。電暖表示灯撤去。

(59A-2)JR 西日本 44 号機 現役機

43 号機との相違点。ヘッドライト庇無し。KE72H ジャンパー栓取付け位置を内側へ移設。電暖表示灯撤去。

(59B-1)JR 西日本 104 号機 2013 年廃車、113 号機現役機

抵抗器カブァー高い。ウィンドウォッシャー付き。ヘッドライト庇無し。汽笛カヴァー後ろ蓋有り、蓋の位置はセンター。KE72H ジャンパー栓取付け位置を内側へ移設。電暖表示灯の表示灯埋め込み。113 号機は粉塵防止板取付けブラケットが 2 エンド側屋上に付く。

(59B-2)JR 西日本 114 号機 現役機

104 号機との相違点はヘッドライトに庇有り。

(59C)JR 西日本 103 号機 2015 年廃車、京都鉄道博物館展示。104 号機との相違点は電暖表示灯の表示灯はオリジナル形状。

以上。尚今後余りにも注文数が少ない場合はそのバージョンは生産中止する場合もございます。
又機番、仕様の変更等がある場合もありますのでその点はご了承下さい。
EF65 と並ぶ国鉄新性能電気機関車の雄、EF81 にメーカーの A TRAIN MODEL のメンバーと共に全力で取り組んでまいります。

キリトリ線

＜お　客　様　ご　注　文　書＞

ご注文年月日　　年　　月　　日

ご氏名　　郵便番号　　-

ご住所

電話番号　　ＦＡＸ番号

メールアドレス

製　品　名	注文数	製　品　名	注文数
TYPE0A 国鉄 EF81 1 号機量産化改造後 富山		TYPE6A 国鉄 EF81 6 次量産車 東新潟 144,145 号機	
TYPE1-1 国鉄 EF81 1 次量産車 富山第二 ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇無し		TYPE10 国鉄 EF81 お召し ｸﾞﾚｲ H ｺﾞﾑ 田端	
TYPE1-2 国鉄 EF81 1 次量産車 田端 ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇無し		TYPE50 JRE EF81 お召し 黒 H ｺﾞﾑ 田端 現行ﾀｲﾌﾟ	
TYPE1A 国鉄 EF81 1 次量産車 富山 34,35 号機 運転室側窓下点検蓋取付		TYPE51A-1 JRE EF81 北斗星色 ｸﾞﾚｲ H ｺﾞﾑ 86,94 号機 常磐線無線ｱﾝﾃﾅ座有り	
TYPE2A-1 国鉄 EF81 2 次量産車 富山 39 ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇有り		TYPE51A-2 JRE EF81 北斗星色 ｸﾞﾚｲ H ｺﾞﾑ 97 号機 電暖表示灯小型化改造	
TYPE2A-2 国鉄 EF81 2 次量産車 酒田 43,46 号機 ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇有り		TYPE51B-1A JRE EF81 北斗星色 黒 H ｺﾞﾑ 82 号機 常磐線無線ｱﾝﾃﾅ座無し 田端	
TYPE2B 国鉄 EF81 2 次量産車 酒田 47～74 号機 ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇有り		TYPE51B-1B JRE EF81 北斗星色 黒 H ｺﾞﾑ 98 号機 常磐線無線ｱﾝﾃﾅ座無し 田端	
TYPE3-1 国鉄 EF81 3 次量産車 内郷 79,80,81 号機 ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇有り		TYPE51B-2 JRE EF81 北斗星色 黒 H ｺﾞﾑ 80,81,96 号機 常磐線無線ｱﾝﾃﾅ座有り	
TYPE3-2 国鉄 EF81 3 次量産車田端 84,85,90,93 号機 ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇無し		TYPE51C JRE EF81 北斗星色 133 号機 黒 H ｺﾞﾑ 田端	
TYPE4 国鉄 EF81 4 次量産車 101～126 号機 ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇有り		TYPE51S-1 JRE EF81 北斗星色 78 号機 黒 H ｺﾞﾑ 田端	
TYPE4A 国鉄 EF81 4 次量産車 101,121 号機 運転室側窓下点検蓋取付		TYPE51S-2 JRE EF81 北斗星色 88,93 号機 黒 H ｺﾞﾑ 田端	
TYPE5-1 国鉄 EF81 5 次量産車 敦賀 129 号機 ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇無し		TYPE52A JRE EF81 95 号機ﾚｲﾝﾎﾞｰ色 ｸﾞﾚｲ H ｺﾞﾑ	
TYPE5-2 国鉄 EF81 5 次量産車 酒田 127,130,132,135,136 号機 ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇無し		TYPE52B JRE EF81 95 号機ﾚｲﾝﾎﾞｰ色 黒 H ｺﾞﾑ	
TYPE6 国鉄 EF81 6 次量産車 東新潟 137～143,146～152 号機			

製　品　名	注文数	製　品　名	注文数
TYPE53-1 JRE EF81 カシオペア色 79 号機　常磐線無線ｱﾝﾃﾅ座有り 田端		TYPE58A-1 JRW EF81 ﾛｰｽﾞﾋﾟﾝｸ色 敦賀 45 号機　ヘッドライト庇有り	
TYPE53-2 JRE EF81 カシオペア色 92 号機　常磐線無線ｱﾝﾃﾅ座有り 田端		TYPE58A-2 JRW EF81 ﾛｰｽﾞﾋﾟﾝｸ色 敦賀 48 号機　ヘッドライト庇無し	
TYPE53-3 JRE EF81 カシオペア色 99 号機　磐線無線ｱﾝﾃﾅ座無し 田端		TYPE58B-1 JRW EF81 ﾛｰｽﾞﾋﾟﾝｸ色 敦賀 106,107,108 号機　ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇有り	
TYPE54-1 JRE EF81 赤２号 ｸﾞﾚｲHｺﾞﾑ 長岡 133,135 号機		TYPE58B-2 JRW EF81 ﾛｰｽﾞﾋﾟﾝｸ色 敦賀 101 号機　電暖表示灯付き	
TYPE54-2S JRE EF81 ﾛｰｽﾞﾋﾟﾝｸ色 138,141 号機　長岡		TYPE59A-1 JRW EF81 ﾄﾜｲﾗｲﾄｴｸｽﾌﾟﾚｽ色 43 号機　ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇有り	
TYPE55 JRE EF81 赤２号 黒Hｺﾞﾑ 青森 137,138 号機		TYPE59A-2 JRW EF81 ﾄﾜｲﾗｲﾄｴｸｽﾌﾟﾚｽ色 44 号機　現役機　ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇無し	
TYPE55-1 JRE EF81 赤２号 黒Hｺﾞﾑ 長岡 150 号機		TYPE59B-1 JRW EF81 ﾄﾜｲﾗｲﾄｴｸｽﾌﾟﾚｽ色 104,113 号機　ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇無し	
TYPE56 JRE EF81 双頭連結器 黒Hｺﾞﾑ 長岡 134 号機、青森 136 号機		TYPE59B-2 JRW EF81 ﾄﾜｲﾗｲﾄｴｸｽﾌﾟﾚｽ色 114 号機　現役機　ﾍｯﾄﾞﾗｲﾄ庇有り	
TYPE57 JRE EF81 双頭連結器 青森 139 号機、長岡 140,141 号機		TYPE59C JRW EF81 ﾄﾜｲﾗｲﾄｴｸｽﾌﾟﾚｽ色 103 号機 EG 灯付き	
TYPE57-1 JRE EF81 双頭連結器 長岡 151 号機			

Hobby House
有限会社
ムサシノモデル

〒174-0053　東京都板橋区清水町７３－１
HOME PAGE http://www.musashino-m.co.jp
E-MAIL　order@musashino-m.co.jp
TEL　03　(3961)　5666　FAX　03　(3961)　0317